

令和5年7月12日

報道関係者各位

橿原市役所 魅力創造部 昆虫館

特別展 『やばすぎる！セミ展』

夏といえばセミ、というほどセミは私たちの生活にとってなじみ深い生き物です。大きな声で複数匹が集まって鳴いたり、土の中で幼虫期を何年も過ごしたり、ほかの昆虫にはない生活史も魅力のひとつです。また身近で親しみもありますが、多くの人が知っていることはごくわずかであり、意外と奥が深い生き物でもあります。本特別展では身近なものから世界の種まで、標本や解説パネルを用いてセミたちのやばい世界を紹介します。

これまで全国各地の博物館施設でも、セミがメインの展示はほとんど開催されておらず、今回の展示は2007年に大阪市立自然史博物館で開催された「世界一のセミ展」に次ぐ、16年ぶりの大規模な内容を企画しています。

記

1. 開催期間 令和5年7月19日（水）～10月9日（祝）
2. 場 所 橿原市昆虫館 2階 標本展示室3（特別展示室）
3. 展示内容
 - ・奈良のセミ 各種紹介
 - ・日本産 全36種1亜種のセミを標本展示
 - ・鳴かない 原始的なセミ
 - ・世界最大・最小のセミと背比べ
 - ・世界で最も長生きするセミそのほか、セミの鳴く仕組みや一生、セミのできる自由研究などを解説したコーナーを予定しています。
※詳細は別紙にて説明
4. 展示点数 ・約90種300点を展示予定

＜本件に関する問い合わせ先＞
橿原市・魅力創造部 昆虫館
橿原市南山町624
[TEL:0744-24-7246](tel:0744-24-7246)（直通）
担当：池田 大・辻本 始

【展示内容 説明】

・奈良のセミ 各種紹介

アブラゼミやクマゼミなどの身近な種のほかにも、奈良県内には全部で13種のセミが生息しています。その中には春だけ出現する種であったり、山の高い所にしかいない種など、あまり知られていない種もいます。本展示の準備にあたり、数年前より奈良県内各地で調査を行い、資料を集めました。また動画を用いて、各種の鳴き声や時間ごとに変化する鳴く種の違い（同じ日に定点で録音）も展示します。

・日本産 全種のセミを標本展示

日本列島は南北に長く、亜寒帯から亜熱帯まで多様な気候が存在することから、非常に多様なセミが生息しています。その中には国内希少野生動植物種に指定されているイシガキニイニイ、国指定天然記念物のオガサワラゼミなど、絶滅が危惧される種もいます。また外国からやってきた外来種のセミ、スジアカクマゼミ、タイワンオオツクツクも近年見つかっています。日本でおそらく今回の展示で初めて、これらを含む日本産全36種1亜種の実物標本を一挙公開します。

・鳴かない 原始的なセミ

一般にセミは鳴く虫として知られていますが、もともと鳴いていたわけではなく、進化の過程で鳴く仕組みを獲得したといわれています。この発音器官をもたない貴重な原始的なセミの生き残りともいえるオーストラリアムカシゼミを展示します。

・世界最大・最小のセミと背比べ

世界で最も大きなセミは、マレーシアに生息するテイオウゼミ。全長12cm、翅を広げると20cmを超えます。一方、世界で最も小さなセミは、オーストラリアに生息するウラバナナゼミ。全長1.3cmしかない、ハエのように小さなセミです。これらのセミの実物標本を展示するほか、15倍に拡大した写真（テイオウゼミ約180cm、ウラバナナゼミ約19.5cm）と並んで写真が撮れるスポットをご用意しています。

・世界で最も長生きするセミ

セミは幼虫の間、何年も地中で生活しているため、短命のことが多い昆虫の中でも比較的寿命が長いです。しかし、北アメリカに生息する周期ゼミの仲間は、非常に幼虫の期間が長く、卵から成虫になるまでジュウシチネンゼミは17年間、ジュウサンネンゼミは13年間かかります。

特別展

やばい展

2023.7.19 wed - 10.9 mon

過ぎる!

日本産全36種を展示! 幻のセミも登場!/?なんと!
 セミは〇〇〇〇のなかま!/?寿命は本当に短いの?/
 夏しかおらんと思ってた?/?なぜ、やかましく鳴く
 のか?/?世界最大のセミ・最小のセミ

協力 / 大阪市立自然史博物館、橿原市昆虫館友の会、いずもりよう、日本セミの会、NPO 法人こどもとむしの会

橿原市昆虫館

〒634-0024 奈良県橿原市南山町 624 (香久山公園内) TEL. 0744-24-7246 FAX. 0744-24-9128